

大学職員向けセミナー 「つながりと就職支援」

参加費
無料

酷暑が人々からマスクを取り去った感がある今日この頃、いかがお過ごしでしょうか？大学生活も一見正常化しているようにも見えますが、現場からは学生の学びへの取り組みや教員、友人との関わり方に、コロナ前後で大きな変化を感じるという声を聞きます。この3年間でキャンパスにおける偶発的出会いの機会が激減しました。就活早期化に前のめりになっている多くの学生でさえ孤独感やストレスを抱え、本来大学が持っていた「つなげる」機能が確実に低下しているように思います。弱体化したタテとヨコのネットワークは回復が急務ですが、新たな人間関係の構築方法も社会全体の課題といえるでしょう。

内外の環境は大きく変化し、学生の学びや就職支援に関わる人たちは、常に思考や手法をアップデートする必要があります。そこで今年も就職支援と学びに焦点を当てたセミナーを企画しましたが、テーマははずばり「つながり」です。今後の大学人はどうあるべきか、大人が大学生をサポートするのに何を考えなければならないのか、諸問題に最適の識者が十分に語ります。さあ皆さま、夏の終わりにオンラインでお会いしましょう。奮ってのご参加をお待ちしています。

開催
日時

2023年9月28日(木) 13:30~16:30

開催
方法

オンライン
(Zoom ウェビナーを予定)



申込
方法

▼セミナー参加申し込みフォームからお申し込み下さい
<https://form.toyokeizai.net/enquete/dcl2023/>



申込
締切

2023年9月26日(火)

プログラム

スペシャルトーク 13:30 ~ 15:00

常見 陽平

働き方評論家 千葉商科大学国際教養学部准教授

プロフィール・1974年生まれ、北海道札幌市出身。一橋大学商学部卒業後、リクルート、バンダイ、コンサルティング会社を経て独立。働きながら一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了(社会学修士)。2015年4月より千葉商科大学専任講師(2020年4月より准教授)。専攻は労働社会学。大学生の就職活動、労使関係、労働問題、キャリア論、若者論を中心に、執筆・講演など幅広く活動中。「就活」と日本社会(NHKブックス)、「親は知らない就活の鉄則」(朝日新聞出版)、「なぜ、残業はなくなるのか」(祥伝社新書)など著書多数。



■ 第1部 「大学はいかにして学生を守るのか」

- 早期化?自由化?無法化?—売り手市場がもたらす不幸の連鎖
- 雑な採用活動で疲弊する学生たち
- オワハラの過激化とワークルール教育の必要性
- 経済格差により二極化する学生
- 学歴フィルターの乗り越え方 ● 採用担当者の本音を理解する

■ 第2部 「常見先生教えて! Z世代のハートに火をつける法」

- タイパ教信者対策 ● 若者が自信をつけるためのコーチング
- 生成系AI時代の大学教育の意味
- 年長者へ告ぐ—「MSJ」厳禁!自分語りはオンデマンドで
- 待つ・サポート・自分事化

◆ 聞き手:東洋経済新報社 西村

休憩 15:00 ~ 15:10

実践報告 15:10 ~ 15:50

西村 雄吉

東洋経済新報社 教育事業推進部長

プロフィール・明治大学卒業後、住宅メーカー、専門出版社を経て2002年に東洋経済新報社へ入社。広告局、データ事務局を経て、2014年よりマーケティング局電子出版チームにて、オンラインデータベース、デジタルアーカイブ、電子図書館を担当。現在はデジタルメディア局 教育事業推進部長として全国の大学図書館・キャリアセンター主催セミナー、リクナビや楽天みん就のイベントなど学生向け講演は年間30回以上。2016年から青山学院大学経済学部、2020年から明治大学商学部において、前期2単位の「企業の見方」講座を開講し、アクティブラーニング授業のプロデュースを手掛ける。2021年からは國學院大学経済学部とのコラボでSDGsに特化した双方向型授業「政策デザイン」の設計に携わり、講師も務める。

■ 「良い会社を探し調べるために」

- 学生の現状と彼らが授業に求めるもの
- インターンシップが学生に与える影響
- 成果発表に見るプレゼンテーションの課題
- 検索と四季報で会社選びの視野を広げる

スペシャルインタビュー 15:50 ~ 16:30

青地 俊亮

東洋経済新報社「就職四季報」編集長

プロフィール・1990年大阪生まれの京都府出身、東京大学農学部を卒業後、2016年に東洋経済新報社に入社。データ事務局において「会社四季報」のデータ制作、「就職四季報」副編集長を経て、2022年に弱冠32歳で編集長就任。院生時代に編集部でのアルバイト経験があり、現在は学生スタッフの指揮をとる立場に。「就職四季報」の表も裏も知り尽くした若き編集長として、各種媒体やイベントに出演多数。また東洋経済の大学講座では、「令和の若者」の心を掴む語り口と、快刀乱麻の質疑応答が受講者に大好評。11月発売予定の2025年版(2025卒)の準備も着々。



■ 「編集長が語る就活生と企業のトレンド」

- 青地編集長ってどんな人
- 就職四季報4シリーズ制作の裏側と見どころ
- 授業と職場における学生との対話
- データから見る働きやすい会社とは

◆ 聞き手:東洋経済新報社 林

主催 東洋経済新報社

協賛 紀伊國屋書店

お問
合わせ

東洋経済新報社 デジタルメディア局 教育事業推進部 [担当:西村]

☎ dcl2013@toyokeizai.co.jp ☎ 03-3246-5668